

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	モーショニング演習	科目コード	8915
シラバスコード	195B2D-8915		
授業時数/週	2コマ/週		
開講年次・学期	2年次・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	栩木 雅典		
教員の業務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

■科目詳細情報

授業概要	1年生で学習した技術をベースとして、主に短編動画の作品制作を主眼とする。「キャラクタセットアップ」されたモデルを使用し、さらにコンポジット技術も取り入れた動画や、実際に存在する生物をモチーフとした、実写合成動画などを制作していく。
到達目標（前期）	短編動画の作品制作を主眼とする。キャラクタをセットアップし、コンポジットや、実際に存在する生物をモチーフとした、実写合成動画などを制作
到達目標（後期）	前期で習得した技術を活用し、実践的課題を用いたフィニッシュワークを学ぶ。学期末に行われる全体発表会の作品精度向上を目指す。
授業方法	実習形式での学習を実施し、専門分野に関するすべてにわたり実践的・総合的に学ぶ。
実践的教育の内容	担当教員はデジタルハリウッド大学にて教授として教鞭をふるっており、外部との交流や最新の技術の研究を積極的に行っている。当授業は、以上の実務経験を活かし、モーショニングに関する専門的及び実践的な課題を体系的に学び履修している。
評価方法（前期）	モーショニング制作を担う上で必要な技術習得がなされているかを重視し、単元毎に課した課題を評価した基礎点に、前期末に行われる全体発表会での当該科目の寄与点を加算し総合評価としている。
評価方法（後期）	モーショニング制作を担う上で必要な技術習得がなされているかを重視し、単元毎に課した課題を評価した基礎点に、後期末に行われる全体発表会での当該科目の寄与点を加算し総合評価としている。
授業外における学修	平日、日中放課後19時まで実習室を開放し、課題制作および個人製作の添削指導を実施
授業計画（前期）	第1週 VRについて VRムービーの制作理論を説明・ドームマスター3Dの使用法等
	第2週 シミュレーション(1) nクロスの高度な使い方
	第3週 シミュレーション(2) ラップデフォルマでlow→highmeshに動きを伝えてシミュレーションを軽減高速化
	第4週 LOD設定(1) lowmeshからhighmeshモデルにクロスアニメーションをラップデフォルマ割当
	第5週 LOD設定(2) lowmeshからhighmeshモデルにクロスアニメーションをラップデフォルマ割当
	第6週 ゲームエンジンについて(1) ゲームエンジンとパーティクル解説
	第7週 ゲームエンジンについて(2) ゲームエンジンと各種アセット解説
	第8週 シミュレーション(3) 爆破の破片制作とダイナミック設定・破片から出る煙をフルイドで設定
	第9週 シミュレーション(4) 爆破の破片制作とダイナミック設定・破片から出る煙をフルイドで設定
	第10週 MAYAマッスル入門(1) シンプルマッスルボーン設定
	第11週 MAYAマッスル入門(2) シンプルマッスルボーン設定
	第12週 ブレイクダウン(1) ブレイクダウン課題作成
	第13週 ブレイクダウン(2) ブレイクダウン課題作成
	第14週 ブレイクダウン(3) ブレイクダウン課題作成
	第15週 夏休み課題発表 夏休み課題に関する作品講評
	第16週 前期全体発表会
	第17週 前期末試験

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	ピタゴラ装置(1) 物理シミュレーションを利用したピタゴラ装置作成について
	第19週	ピタゴラ装置(2) 装置デザイン及び構想
	第20週	ピタゴラ装置(3) 簡易オブジェクトにてシミュレーション
	第21週	ピタゴラ装置(4) 本番モデル作成、演算数値更生
	第22週	ピタゴラ装置(5) シミュレーションベイク処理ラップでフォーマ検証
	第23週	ピタゴラ装置(6) 作品発表および提出
	第24週	後期作品制作状況チェック 進行状況を把握し修正箇所を指示及び指導
	第25週	後期作品進捗報告会 現在の進捗状況の発表、ライブ配信も行い外部からの講評も実施する。
	第26週	作品修正指示 進級制作途中経過の進捗状況の確認後、各自の制作に関する技術的指導
	第27週	Googleドライブ共有(1) 3回のチェック期間を設け、ビデオコンテから始まり、レイアウトチェック、クオリティチェックなどを行う。
	第28週	Googleドライブ共有(2) 3回のチェック期間を設け、ビデオコンテから始まり、レイアウトチェック、クオリティチェックなどを行う。
	第29週	Googleドライブ共有(3) 3回のチェック期間を設け、ビデオコンテから始まり、レイアウトチェック、クオリティチェックなどを行う。
	第30週	卒業課題チェック(1) 作品添削個別指導 リテイク指示
	第31週	卒業課題チェック(2) 作品添削個別指導 リテイク指示
	第32週	卒業課題最終チェック 作品添削指導
	第33週	後期合評会
第34週	期末試験	
教科書・教材	「なし」	
参考文献・資料	「特になし」	
履修上の留意点	「特になし」	